

神戸写真洗浄_Vol.06_活動報告書

被災支援ボランティア団体
「おたがいさまプロジェクト」 大竹 修

神戸で出来る復興支援「写真洗浄会&プチ防災セミナー Vol.06」が
終了しましたので、下記の通りご報告致します。

記

活動日時	2019年2月09日（日）10:00～16:00
活動場所	神戸市 青少年会館
ボランティア数	述べ29名（午前14名 午後15名）
活動内容	1.写真洗浄 2.防災セミナー
その他	しみん基金・KOBEの助成事業になります。

【1.写真洗浄】

作業時間	6時間（10時～16時）
受益対象者数	約25名
支援・協力団体	真備洗浄@あらいぐま岡山（作業指導等）
詳細	※写真洗浄とは 自然災害で汚れた写真を丁寧に洗浄するボランティア活動。 泥で汚れた写真はバクテリアが周りから侵食して見えなくなってしまう。侵食をとめるために水・エタノールで洗浄しなくてはならない。 簡単な作業ではあるが、被災者の心に寄り添える大切な活動で、力仕事に自信がない方や、初心者には特に向いているボランティアと言える。 <活動の成果> 1. 被災者の思い出を守り、生きる喜びを与えることができた。 2. 写真洗浄ボランティアを世間に広めることができた。 3. 被災地ではない場所で、復興支援を行なうことができた。 4. 作業テーブル内に経験者を配置、交流を通して、防災やボランティアの意義を感じてもらった。 5. ボランティアバスツアーの誘致につながった。 【遠方でも出来る復興支援】 被災地には行けないが、復興支援ボランティアをしたいという希望者の声を多数聞いた事、被災地でない神戸で復興支援が出来ないかと、本企画を立ち上げた。



	※活動に当たり、写真洗浄の第一人者でもある「課題のあらいぐま」のスタッフの片岡加奈子氏に写真提供やアドバイス等のご協力頂いた。 【写真洗浄ボランティアを広めていく】 写真洗浄ボランティアはまだ認知度が低く、定期的に行うことで災害があっても写真を捨てられないよう、SNS広報活動を積極的に活動していく。 今後も<u>防災、ボランティアのイメージが強い神戸ブランドを活かし、今後も活動を行いながら情報発信を努めていく。</u> 
--	--

【2.防災セミナー】

作業時間	35分
ボランティア数	1名
受益対象者数	約30名
詳細	今まで活動してきた仮設住宅での慰問活動を、メンバー、ツアー参加ボランティアの方に、当時の状況を説明してもらった。  当時の写真や動画などを見ながら報告してもらい、まだ復興が終わっていないこと、復興とはどういう事を考えて頂き、遠隔地であっても被災地を感じられるように演出し、参加者の防災やボランティアの意識向上に貢献した。

【所感】

今回も学生、親子連れ、社会人など多岐にわたり参加があり大変意義のある時間を過ごすことができました。

<令和2年の自然災害に備えて>

必ず起こるであろう南海トラフを含めた自然災害に事前に備えるために防災やボランティア、何より思いやる心を育てるためにも、今後も学生や初参加の方を優先して参加して頂き、これからも意義のある時間を提供していきたいと思います。

(2回目の参加になる高校生)



<今以上の暖かい社会を目指して。>

今回は3組の親子連れが参加していただきました。その中には引きこもりがちのお子さんがいて、その子が一生懸命活動している姿を見て、この活動ができたことを心から誇りに思っております。これからの社会をよくするのは他でもない彼らの世代です。 そんな彼らに少しでも 意義のあるあたたかい時間を提供したいと思っております。



人生で初めての体験で「すぐおすかしのかわいさか
思っていたけど先生教えてくれたのでよかった
です。これからリンクのイベントも参加したいです。
ありがとうございました！」

最後にこのような機会を頂けた、しみん基金・KOBET様、真備洗浄@あらいぐま岡山様、ご寄付頂いた皆様。そしてボランティアの皆様に、心より感謝をお伝えしたいと思います。

本当に有難うございました。
おたがいさまプロジェクト代表 大竹

【今後の活動予定】

02月29日・・・復興支援ボラバスツアーVol.19日「神戸から真備へ」

03月15日・・・神戸で出来る復興支援 写真洗浄会 & プチ防災セミナー Vol.07

神戸
洗浄

神戸で出来る復興支援 2020.02.13 写真洗浄会 無事終了! 1
西日本豪雨で汚れてしまった、倉敷市真備町の写真を洗浄することが出来た。

親子で参加

今日はありがとうございました。

写真撮影大切は 復興支援だと改めて

感じさせて頂きます。

自分はボランティアに参加する事がなくて、緊張していたけど
実際にやってみて、スムーズにできたり、人の助けになれていることを
感じたので良かったです。



30代 / 社会人



倉敷の水害のことは、知っていたが、今も仮設住宅に住んでいる
被災者の方々がいらしたことは知らなかった。

写真というのは、大切な思い出を思い出すための大切なツールだと思う。
ほんの一部でも残っているなら、持ち主の人にこそ思い出せる
のかもしれないなと思った。

また参加させて頂ければと思います。ありがとうございました。

親子で参加

人生で初めての体験ですごくおもしろいかな
と思っていたけどたくさん教えてくれたので良かったです。
これからこのおもしろい体験をたくさん参加していきます。
ありがとうございました！

今日は、家族と一緒に参加させて頂きました。とても体験に
なりました。写真をみると大切な思い出が、
たくさんあり、作業をしていき、きれいになって
きたらうれしく思いました。
また参加出来る時は、させて頂きたいです。



親子で参加

今回初めて、このお茶会イベントに参加させて頂きました。
 本日は写真撮影だけでも素晴らしい状態にしていただき
 ありがとうございます。作業しました。
 今後も機会があれば参加したいと思っています。
 ありがとうございました。

今日の復興支援に参画いただき、とても良い経験になりました。写真も決まるとい
 うことで、写真の持ち主の方にはお礼の言葉を、お返しに何かお返しを
 したいと思っています。お返しに何かお返しを
 したいと思っています。お返しに何かお返しを
 したいと思っています。



30代 / 社会人



神戸の復興支援は、2日目でした。初めての参加者も多く、写真も決まるとい
 うことで、写真の持ち主の方にはお礼の言葉を、お返しに何かお返しを
 したいと思っています。お返しに何かお返しを
 したいと思っています。

姉妹で参加

とても勉強になりました。また、参加してみたいと思います。

食料だけでなく、被災地の方のお手伝いが出来て良かったと思います。
 勉強にもなりまし、参加していい経験になりました。



10代 / 学生

2022年 春に 行った。思い出写真に 必ず 参加して くることに
決めた。特に、岡山 真備町 には、自分 何をして いたのか
たどった。そして、定期的に 支援するの ため
その 参加して。これから 参加して
思い出



10代 / 学生

2回目。作業にも だいぶ 慣れてきた。
「被災地の方のため、何か ありますか」と、この
自分自身 ためにも なっているのでは と感じました。
人のために 活動する人たちが 集まる空間、で、
心地良いこと。これから 活動して いきたい と思います。

30代 / 社会人

今日で2回目になりましたが、全然お逢いした事がない方の
思い出という大事なものに触れる事が出来、貴重な体験を
させて頂け良かったです。思い出に残せる物でしょうか...
写真の大事さに気付かせて頂いたように感じます。
今日も ありがとうございます。
又機会があればぜひ参加し続けたいです

30代 / 社会人



神戸の 洗浄は 3回目となります。毎日 初めましての方が いろいろ
あるので、新鮮です。先 第1回目 お互い 手加減。状況も 途中
で 発表されて いる。被災状況を 皆に 伝えられることで 真備、当時を
知ってもらえること にも ありがたい 感じています。
また 参加させていただきます。

20代 / 学生

洗浄作業に参加する前は、自分たちが しているのは 様々ですが、共通するものは
写真から「思い出」が 感じられるように 取り組みたい。参加の度に
思い出を感じる。自分たちが 出来るだけ 自分たちの 思い出に 真備の 方に
近いという思いで やりたい。と 真備町で 活動中に取り組みたい。
特に、この 写真には 参加したい。写真には 参加したい。写真には 参加したい。
写真には 参加したい。写真には 参加したい。写真には 参加したい。

10代 / 学生

写真洗浄をや。という こと 知って、やったけれど、
実際にや。た。り。は。は。じ。め。て。で。水。に。つ。け。て。し。
ました。写真も はじめに みました。作業 自体は
誰に せよ せ。こん。う。な。も。の。の。で。い。ろ。ろ。の。人。
に 応。え。ら。れ。た。ら。い。い。と。思。い。ま。す。

50代 / 会社員

みなさまの 出会いに 感謝です。
ありがとうございました。



20代 / 学生

住所は神奈川県のため、SNS等でも支援され
ています。



10代 / 学生



・ 自身ボランティアに挑戦したことがあり、最初は被災地に行かなければ
貢献できるボランティアに参加できなかった。実際参加してみると、
家族の思いがけず写真撮影で自身の活動を撮り
思い出に残る写真を撮ることができた。自分のやり方自体が被災地
支援に貢献できていることを知り、様々な機会を通じて貢献したい
と思うようになった。 復興支援ボランティア参加したいです。